

孝和元  
百姓啓初記  
全

特別  
37  
4643





福井深次郎

門ヨ7  
號4643  
卷

享和元<sup>辛</sup>酉年六月廿九日七月廿日每日百姓啓勅一併

六箇

御用者

下江丸文殿

月書

城川南之進

昭和三十一年  
八月二十七日  
購求

山歌市者頭同波

山瀬新島  
根岸津島  
福井津島  
太田十右衛門  
城川前進  
島首六右衛門  
新島左之衛  
島首市右衛門  
石川安之衛

五日

一 古方在島の旗邊勘所沖用者在夏敷活掛  
湯衣信の江邊宮と母長町子並に成有務と夏同文  
有く島方火方組と有夜中音お旦といは沙汰  
古海至有く海く島消少成強成と中至に也  
同波中とい業日且文有也

十一日

一 古方源之信 古方島之安之信



如宗家控藩堂下、此、まゝ、の者も、も、おん、  
所、の、事、も、少、く、な、り、し、ゆ、へ、も、お、か、ま、さ、さ、し、  
及、十、百、兩、の、お、金、の、湯、次、の、店、十、兩、の、市、右、の、御、用、者、の、お、金、  
一、百、兩、の、御、用、者、の、お、金、

一、御、用、者、の、お、金、の、御、用、者、の、お、金、の、御、用、者、の、お、金、  
御、用、者、の、お、金、

一、御、用、者、の、お、金、の、御、用、者、の、お、金、の、御、用、者、の、お、金、  
御、用、者、の、お、金、

二二日

一、御、用、者、の、お、金、の、御、用、者、の、お、金、の、御、用、者、の、お、金、  
御、用、者、の、お、金、

一、御、用、者、の、お、金、の、御、用、者、の、お、金、の、御、用、者、の、お、金、  
御、用、者、の、お、金、

昨夜之祝 芳合より 及び此 戒場所之 地也 大万  
之者 五也 少れ下 万由達 且く 知月者  
由達 之言 一也 此 山 所 別 月 若 南 之 事  
達 之 成 丈 若 採 之 大 標 若 山 南 若 見 也 万  
若 之 少 山 博 之 如 傳 之 若 之 若 一 万 若 若 山 若 始  
人 在 此 山 人 之 知 根 丈 之 地 之 人 院 也 若 若 山 若 始  
之 人 之 知 之 人 頭 者 一 若 七 人 若 若 山 若 始

大万退之者

寺社同之

あり者

招七人

之

八

而外 大万退之者 寺社同之 人 寺社出頭之 人 若 若 山 若 始  
若 若 山 若 始

大万

大万者

寺社同之

曰人

八人

三人

是ハ 院 也 大 万 退 之 者 寺 社 同 之 人 若 若 山 若 始

寺社同之 人 之 變 子 用 向 寺 院 若 若 山 若 始 若 若 山 若 始  
若 若 山 若 始 若 若 山 若 始 若 若 山 若 始 若 若 山 若 始  
若 若 山 若 始 若 若 山 若 始 若 若 山 若 始 若 若 山 若 始

小諸侯口 若 若 山 若 始 若 若 山 若 始

極行境日并 小島跡町也

万日河原并 河藏院跡也

一 和祈宮境日并 小島町跡也

一 龍石寺裏へ通

右之外之北、きくく北、或場所あり、  
南方面政政之儀、易合席等、  
里長らあり、  
一 軍焼をり

一 軍焼をり

是の跡、目下、  
一 軍焼をり

一 軍焼をり

右の跡

一 同

右の跡、  
一 同

一 同

右の跡、  
一 同

右の跡、人殺之跡、  
人々、  
一 同

大方山  
一 同七人

一 同七人

一 同七人

一 同七人

一 同七人

一 同七人

一 同七人

一 同七人



改訂ししなり

一 慶事有之 古く火之者出馬之 其用之 其所以  
引進の 其組湯名 其右 其組 其右 其右  
者之方加 其右 其右 其右 其右 其右  
定事 其右 其右 其右 其右 其右

一 其右 其右 其右 其右 其右 其右 其右 其右  
其右 其右 其右 其右 其右 其右 其右 其右  
其右 其右 其右 其右 其右 其右 其右 其右

古く其右 其右 其右 其右 其右 其右 其右 其右

十二日

一 此慶事有之 古く火之者出馬之 其用之 其所以  
引進の 其組湯名 其右 其右 其右 其右 其右  
者之方加 其右 其右 其右 其右 其右 其右 其右 其右

一 軍機所用 其右 其右 其右 其右 其右 其右 其右 其右  
其右 其右 其右 其右 其右 其右 其右 其右  
其右 其右 其右 其右 其右 其右 其右 其右

井原の事ありて。古き湯の湯掛合。

十六日

一夜更に所次部方製成之掛合不南波。中夜に  
少用之是也。小自川村役人。山道山と大橋に  
人多き花書成り。中夜に練浪とあけの古地松  
明すと燈。一は子に流雲と燈。一は子に。一は  
小怪敷と。一は子に。一は子に。一は子に。一は子に。  
少用之。以別書く者。古き。日者。南と。道。直と。子。我。中。夜。  
火。方。方。者。出。馬。と。月。長。有。之。知。又。一。割。元。一。

怪敷と。友人。書。小。海。東。と。小。掛。合。江。と。一。條。之。  
河。用。者。日。者。南。之。と。子。我。是。也。江。と。一。條。之。  
例。と。子。我。出。波。江。江。江。又。少。用。之。在。宮。殿。の。方。中。上。古。知。  
多。知。子。の。如。意。成。り。中。上。の。也。知。方。保。子。  
物。迄。の。山。道。知。成。り。如。今。波。此。掛。合。の。子。我。と。  
麻。呂。火。と。一。あ。り。と。一。及。中。夜。の。子。我。と。一。少。路。回。心。  
斗。子。我。と。一。南。波。の。子。我。と。一。及。中。夜。の。子。我。と。一。其。後。  
火。と。一。多。書。掛。合。の。子。我。と。一。若。江。と。一。古。地。松。  
出。馬。有。之。江。道。直。湯。の。湯。掛。合。の。子。我。と。一。河。用。者。の。湯。掛。合。の。子。我。  
中。夜。の。子。我。と。一。在。中。夜。の。子。我。と。一。湯。の。湯。掛。合。の。子。我。と。一。  
長。橋。と。一。江。道。直。湯。の。湯。掛。合。の。子。我。と。一。日。者。と。一。



山麓に田舎あり後とて左麓に海あり火を著  
し海に流す事あり火を著し海に流す事あり  
とあり

廿二日

一 沙田史系中用史非人改くとの事  
中史系中用史非人改くとの事  
中史系中用史非人改くとの事  
中史系中用史非人改くとの事

一 七首文系

法起町史

廿八

小田村史

廿六

十島村史

廿八

行町史

廿七

松島町史

廿五

海老島史

廿八

非人改

二人

一 七百文系

北人匪之人... 斃于中... 斃者...

夜九つ時南音小々信... 法苑と平... 斃者... 斃者... 斃者...

少中... 斃者... 斃者... 斃者... 斃者... 斃者... 斃者...

之海客方子仰日知家早。夜し明は方子とあり。其  
然如陽而。其倍長。其方子と云也。其意中。其海客は十  
長。其方子。其加。其知。其方子。其長。其  
少。其方子。其日。其明。其方子。其長。其  
比。其知。其方子。其海。其客。其方子。其長。其  
其。其方子。其海。其客。其方子。其長。其  
中。其方子。其海。其客。其方子。其長。其  
其。其方子。其海。其客。其方子。其長。其  
亦。其方子。其海。其客。其方子。其長。其  
い。其方子。其海。其客。其方子。其長。其  
亦。其方子。其海。其客。其方子。其長。其

一 方子と云は。其方子。其海。其客。其方子。其長。其  
其。其方子。其海。其客。其方子。其長。其  
昨。其方子。其海。其客。其方子。其長。其  
其。其方子。其海。其客。其方子。其長。其  
其。其方子。其海。其客。其方子。其長。其  
其。其方子。其海。其客。其方子。其長。其  
其。其方子。其海。其客。其方子。其長。其  
其。其方子。其海。其客。其方子。其長。其  
其。其方子。其海。其客。其方子。其長。其  
其。其方子。其海。其客。其方子。其長。其

庚六日

一 夜以河以初夜或之始之日者南之... 余往而... 子... 中... 河... 小... 伏... 考... 也...

一 大方... 知... 編... 也...

一 設... 日... 小... 明... 日... 也...





有るに才相又世後及少掛合の事抄下以  
り言少無之を名也此作傳云

二月八日

如者武三信  
上村徳光  
法有経光

正月九日

此言此上從業テ多友入村の徑一而願り、  
端此の言いお願又多の神万一少願中百姓  
ト入交有るの言いお是、及少掛合字少少  
云云

右場田大藤左輔歎由收人云

右同又云行也、お是言の言いお是、及少掛合字少少  
集稿之河曰太志也、お是言の言いお是、及少掛合字少少  
お是言の言いお是、及少掛合字少少

此言此上從業テ多友入村の徑一而願り、  
端此の言いお願又多の神万一少願中百姓  
ト入交有るの言いお是、及少掛合字少少  
云云

山五陽とては山陽の山を指す

一 此山物産豊茂万一況意之者採集あり一町く人足之  
採人宛口くは産物多し古用意有餘方採集あり  
類方之類は山南にあり人足大に採集あり  
入交混雜之故南の方日本産物ありて山南の方白地  
ゆんごは採集ありけり

一 所用者在是故今大方山南の方の山南使方は採集  
物産多し方之産物も之類の山南の方より採集あり  
事候一之方山南の方の山南使方は採集あり

洗山原及山南の方共山南の方の山南使方は採集あり  
山南の方の山南使方は採集あり  
山南の方の山南使方は採集あり  
山南の方の山南使方は採集あり  
山南の方の山南使方は採集あり

一 山南の方の山南使方は採集あり  
山南の方の山南使方は採集あり  
山南の方の山南使方は採集あり  
山南の方の山南使方は採集あり  
山南の方の山南使方は採集あり

廿九日

一 山南の方の山南使方は採集あり  
山南の方の山南使方は採集あり  
山南の方の山南使方は採集あり  
山南の方の山南使方は採集あり  
山南の方の山南使方は採集あり



日者 百之進

山陽道新... 年... 中... 知... 右... 諸... 節... 等

火子 安之信

火子 油... 信

火子 市... 信

右之人... 陽所... 諸... 節... 等

一 十右進... 諸... 節... 等

右... 諸... 節... 等

一 右... 諸... 節... 等

一 又... 諸... 節... 等

右圖中文字ありきるる其の後、  
山崎口、善所、也、  
此、  
お、  
宮、  
九、  
少、  
を、  
こ、  
和、

一、  
こ、  
上、  
有、  
右、  
希、  
物、  
乃、  
巨、  
少、  
寺、



多意より口舌園に在る湯の石馬古門に多意より口舌園  
に外に無意子の形方三人の園に洞町に八湯の多意  
市島形方の格意に何意より馬の如く茶原町に  
しより押出に口舌園に有るより多意より湯の石馬  
中。

一夜分所より口舌園に在る湯の石馬古門に多意より口舌園  
に外に無意子の形方三人の園に洞町に八湯の多意  
市島形方の格意に何意より馬の如く茶原町に  
しより押出に口舌園に有るより多意より湯の石馬  
中。

此中一連の如く茶原町に入口の余程に湯の石馬古門  
に外に無意子の形方三人の園に洞町に八湯の多意  
市島形方の格意に何意より馬の如く茶原町に  
しより押出に口舌園に有るより多意より湯の石馬  
中。

明のころは揚新種繼りて方成りて江蘇の地と云  
信之是怪たり方河東の地と云其地と云如神種  
遣之妙なり六日所之回轉を其種行列と七日所口と  
引入内用者極少なり其地と云其地と云其地と云  
其少は其怪たり其地と云其地と云其地と云  
内用者少なり其地と云其地と云其地と云  
其地と云其地と云其地と云其地と云其地と云  
其地と云其地と云其地と云其地と云其地と云

一 負人る捕也其地と云其地と云其地と云  
揚新種なり其地と云其地と云其地と云其地と云  
則穿也其地と云其地と云其地と云其地と云  
其地と云其地と云其地と云其地と云其地と云

一 洞所ありて其捕人なりと云

鈴市に在る馬の代名所

山寺村に在る馬捕

作之儀

菅原正十郎

新種管村 同

友茂

菅原正十郎

同



白頁

二下堂村

册正口所  
石浦等

長古  
當國于文

三河口太忠北出後所

中野村 水九日龍入

惠古  
當國于文

松平山城多秋也願合

中野村 水九日龍入

長古  
當國于文

土屋但馬守山願合應會村也

沖ノ東 在陽下神

長古  
當國于文

白頁

落合村 在陽下神

長古  
當國于文

光明寺願

中野村 在陽下神

又古  
當國于文

白頁

大尾乃之島心少成五所

水町村 水乃陽島

五頁

島之師  
常國三十二

七浦町

島之師

死云

但二腕半之經肩合脊中、  
後之天能切麻粉合二所

藏田左邊乃島心少成五所

青柳村

此乃島心少成五所

島之師  
常國三十二

中月村

此乃島心少成五所

島之師  
常國三十二

端田大島乃島心少成五所

小島村

此乃島心少成五所

島之師  
常國三十二

新生島心少成五所

己以死

他方之島心少成五所、  
胸積三寸切底

島之師



惣旨指上人



七月

日暮

徳吉市吉通

御用者

植山十郎左衛門

朔日

一 船号河原とあり又と前日と毎押来る者江至有るに在り  
之は後回船中より申重し毎少用者十郎左衛門殿此方  
に毎月復に一統を定めしは候お察観に如御用者  
はし又候に候お察観の字まきしとて候る所候は  
得定洋の御用者申重し日所申し押来るはり候るに  
出候御用者申重し候は候お察観の字まきし如候  
早出馬の字とて候は候又と少用者申重し候は  
候は候は候は候は候は候は候は候は候は候は  
候は候は候は候は候は候は候は候は候は候は





新ハ小川小高所所ハ百姓ヲ得高ハ注正有之  
以是之月ハ注人等ハ其ノ如クハ注正有之  
注正有之月ハ注人等ハ其ノ如クハ注正有之  
所ハ其ノ如クハ注正有之月ハ注人等ハ其ノ如クハ注正有之  
所ハ其ノ如クハ注正有之月ハ注人等ハ其ノ如クハ注正有之  
折入リルル子ハ其ノ如クハ注正有之月ハ注人等ハ其ノ如クハ注正有之  
是亦其ノ如クハ注正有之月ハ注人等ハ其ノ如クハ注正有之  
方ハ其ノ如クハ注正有之月ハ注人等ハ其ノ如クハ注正有之  
小川小高所所ハ其ノ如クハ注正有之月ハ注人等ハ其ノ如クハ注正有之  
静澄ハ其ノ如クハ注正有之月ハ注人等ハ其ノ如クハ注正有之  
有之ハ其ノ如クハ注正有之月ハ注人等ハ其ノ如クハ注正有之

お体

一夜半所也工山小河注大物ハ注正有之月ハ注人等ハ其ノ如クハ注正有之  
殿様ハ其ノ如クハ注正有之月ハ注人等ハ其ノ如クハ注正有之  
初ハ其ノ如クハ注正有之月ハ注人等ハ其ノ如クハ注正有之  
刻先ハ其ノ如クハ注正有之月ハ注人等ハ其ノ如クハ注正有之  
若クハ其ノ如クハ注正有之月ハ注人等ハ其ノ如クハ注正有之

去正有之月ハ注人等ハ其ノ如クハ注正有之

白村長

年組

桂

山

池田安之助  
奥清年七  
清田五三  
中津神を以  
全井海倉  
切友三三

一 夜吉本所以沖田者十有五年及市右馬下為建少  
一 麻福所為事一知少此諸動一其一其  
一 誠之風笑一之方一之得夫 一 麻標少一之  
地頗百所者及水比有以中一

亦之仕少之音中者一之方少道中野合一有之  
少者少其一之方一之得夫一之方一之得夫  
一 以後一自是入中流一之方一之得夫一之方一之得夫  
一 其初終一其一之方一之得夫一之方一之得夫  
一 少年中一其一之方一之得夫一之方一之得夫  
一 少病一其一之方一之得夫一之方一之得夫  
一 市右馬一其一之方一之得夫一之方一之得夫  
一 以別場一其一之方一之得夫一之方一之得夫  
一 其進一其一之方一之得夫一之方一之得夫  
一 其進一其一之方一之得夫一之方一之得夫  
一 其進一其一之方一之得夫一之方一之得夫  
一 其進一其一之方一之得夫一之方一之得夫





一 豊河の代官新が五法山人教へて其方遣文進あり  
一 幸也 幸の意は心願し有るも其方遣の早業山人教  
二 其方遣の如きもの道は神の東河東世一面の法意  
三 其方の大勝此いさし一其方遣の容易は其方遣  
四 途中一送物も成りし其方遣の神の神の神の神の神  
五 其方遣の一極端及び其方遣の切掛ありし一其方遣  
六 其方遣の神の神の神の神の神の神の神の神の神  
七 其方遣の神の神の神の神の神の神の神の神の神  
八 其方遣の神の神の神の神の神の神の神の神の神  
九 其方遣の神の神の神の神の神の神の神の神の神  
十 其方遣の神の神の神の神の神の神の神の神の神

一 豊河の代官新が五法山人教へて其方遣の早業山人教

此方遣の神の神の神の神の神の神の神の神の神  
別分神の神の神の神の神の神の神の神の神の神  
乃く其方遣の神の神の神の神の神の神の神の神の神  
其方遣の神の神の神の神の神の神の神の神の神  
其方遣の神の神の神の神の神の神の神の神の神  
其方遣の神の神の神の神の神の神の神の神の神  
其方遣の神の神の神の神の神の神の神の神の神  
其方遣の神の神の神の神の神の神の神の神の神  
其方遣の神の神の神の神の神の神の神の神の神  
其方遣の神の神の神の神の神の神の神の神の神  
其方遣の神の神の神の神の神の神の神の神の神

七月

大正

祐山右福市

祐元但馬守保也



いふはあはれ御所の東に御と古殿の御所は人申す  
少敷合と申すは、御所は御所と申すは、御所は  
御所と申すは、御所は御所と申すは、御所は  
御所と申すは、御所は御所と申すは、御所は  
御所と申すは、御所は御所と申すは、御所は

七月

御所は御所  
御所は御所  
御所は御所

御所は御所

御所は御所  
御所は御所  
御所は御所  
御所は御所  
御所は御所  
御所は御所  
御所は御所  
御所は御所  
御所は御所  
御所は御所

御所は御所

一 御所は御所  
御所は御所  
御所は御所  
御所は御所  
御所は御所  
御所は御所  
御所は御所  
御所は御所  
御所は御所  
御所は御所



一、山、水、江、湖、中、東、西、南、北、各、方、偏、之、氣、利、如、在、山、南、者、  
山、北、之、氣、利、通、一、中、上、下、沙、水、之、氣、亦、如、此、也、又、山、北、之、氣、利、  
如、山、南、之、氣、利、通、一、中、上、下、沙、水、之、氣、亦、如、此、也、及、山、南、之、氣、利、  
如、山、北、之、氣、利、通、一、中、上、下、沙、水、之、氣、亦、如、此、也、  
山、南、之、氣、利、如、山、北、之、氣、利、通、一、中、上、下、沙、水、之、氣、亦、如、此、也、  
山、北、之、氣、利、如、山、南、之、氣、利、通、一、中、上、下、沙、水、之、氣、亦、如、此、也、

三

六、日、月、中、水、之、序、解

世、世、可、方、以、中、者、證、之、數、第、一、沙、中、中、水、之、序、者

一、世、入、山、水、中、有、水、之、序、沙、中、水、之、序、中、水、之、序、也、  
二、世、入、水、中、有、水、之、序、沙、中、水、之、序、中、水、之、序、也、  
三、世、入、沙、中、有、水、之、序、沙、中、水、之、序、中、水、之、序、也、  
四、世、入、水、中、有、水、之、序、沙、中、水、之、序、中、水、之、序、也、  
五、世、入、沙、中、有、水、之、序、沙、中、水、之、序、中、水、之、序、也、  
六、世、入、水、中、有、水、之、序、沙、中、水、之、序、中、水、之、序、也、  
七、世、入、沙、中、有、水、之、序、沙、中、水、之、序、中、水、之、序、也、  
八、世、入、水、中、有、水、之、序、沙、中、水、之、序、中、水、之、序、也、  
九、世、入、沙、中、有、水、之、序、沙、中、水、之、序、中、水、之、序、也、  
十、世、入、水、中、有、水、之、序、沙、中、水、之、序、中、水、之、序、也、

一、世、入、水、中、有、水、之、序、沙、中、水、之、序、中、水、之、序、也、  
二、世、入、沙、中、有、水、之、序、沙、中、水、之、序、中、水、之、序、也、  
三、世、入、水、中、有、水、之、序、沙、中、水、之、序、中、水、之、序、也、  
四、世、入、沙、中、有、水、之、序、沙、中、水、之、序、中、水、之、序、也、  
五、世、入、水、中、有、水、之、序、沙、中、水、之、序、中、水、之、序、也、  
六、世、入、沙、中、有、水、之、序、沙、中、水、之、序、中、水、之、序、也、  
七、世、入、水、中、有、水、之、序、沙、中、水、之、序、中、水、之、序、也、  
八、世、入、沙、中、有、水、之、序、沙、中、水、之、序、中、水、之、序、也、  
九、世、入、水、中、有、水、之、序、沙、中、水、之、序、中、水、之、序、也、  
十、世、入、沙、中、有、水、之、序、沙、中、水、之、序、中、水、之、序、也、

田村組

山本有吉  
沼田有吉  
沼田有吉  
沼田有吉  
沼田有吉  
沼田有吉  
沼田有吉  
沼田有吉  
沼田有吉  
沼田有吉

沼田組

沼田有吉  
沼田有吉  
沼田有吉  
沼田有吉  
沼田有吉  
沼田有吉  
沼田有吉  
沼田有吉  
沼田有吉  
沼田有吉

山本組

山本有吉  
山本有吉  
山本有吉  
山本有吉  
山本有吉  
山本有吉  
山本有吉  
山本有吉  
山本有吉  
山本有吉

山本有吉  
山本有吉  
山本有吉  
山本有吉  
山本有吉  
山本有吉  
山本有吉  
山本有吉  
山本有吉  
山本有吉



解了のうへ、  
お果以者とも  
前者先通散  
有るはり  
公之と  
前より  
中  
但  
比  
聖  
此

但馬と互色中

粘る

別後

為人費

此書

山

作

書

山



山歌光收寺願

中里村

土屋佃馬草山願分

山歌

藤野村

藤野村

長谷

長谷

長谷

長谷

山歌光收寺願

山歌

山歌

藤野村

藤野村

長谷

長谷

中野村

長谷

中野村

貴

又次

南唐字三

大正九年...

貴州

貴

南唐字三

七律

死

死

但在此三...

...

貴州

南唐字三

南唐字三

...

南唐字三

南唐字三

...

...

南唐字三

南唐字三

...

南唐字三

...

...



首

別紙の上巻

后

海軍兵隊馬場代官

新井村

長谷

二河堂村

長谷

二河太志和代官

中津村

長谷

同村

長谷

海軍兵隊馬場代官

山形村

長谷

海軍兵隊馬場代官

山形村

長谷

海軍兵隊馬場代官

山形村

長谷

武田吉良公家

青柳村

右馬八

中井村

右馬八

右馬八

武田吉良公家

青柳村

右馬八

土屋御馬

武田吉良公家

右馬八

武田吉良公家

青柳村

右馬八

武田吉良公家

武田吉良公家

武田吉良公家

青柳村

右馬八

武田吉良公家

右馬八

右之者正成、海之、若果、方、寂、身、之、意、境、  
返、埋、为、仁、心、也、

正、成、者、正、成、也、海、之、若、果、方、寂、身、之、意、境、  
由、果、以、者、若、若、之、正、成、也、

正成海与寂身

七月

右

一、有、人、云、海、書、乃、是、大、小、之、書、也、  
中、以、別、其、也、

有、人、云、海、書

山、教、者、明、也、

中、里、村

一、有、人、云、海、書、乃、是、大、小、之、書、也、  
又、次

三、所、長、三、寸、方、幅、三、寸、方

土、屋、但、以、以、山、教、

廣、野、村、白、河、原

一、有、人、云、海、書、乃、是、大、小、之、書、也、  
幅、三、寸、方

幅、三、寸、方

一、額、長、三、寸、幅、三、寸、方、切、海、書、

右の巻の巻の巻

長野

- 一 天窓の巻の巻
- 一 右の肩の巻の巻
- 一 右の肩の巻の巻
- 一 天窓の巻の巻
- 一 右の肩の巻の巻

左の巻の巻の巻

山手村

- 一 天窓の巻の巻
- 一 右の肩の巻の巻
- 一 右の肩の巻の巻
- 一 天窓の巻の巻
- 一 右の肩の巻の巻

右の巻の巻の巻

七浦村

- 一 右の巻の巻の巻
- 一 右の巻の巻の巻
- 一 右の巻の巻の巻
- 一 右の巻の巻の巻
- 一 右の巻の巻の巻
- 一 右の巻の巻の巻
- 一 右の巻の巻の巻

右の巻の巻の巻

山手村

右の人

- 一 在之有元九寸法
- 一 胸板守守任切板少所
- 一 年齡亦亦亦也
- 一 綿針宜早亦皆也
- 一 市海宜早亦皆
- 一 市市白亦皆
- 一 三也百加三入世也
- 一 冲府在也
- 一 市市在也

右之有元九寸法古果也及理江守守人散也

一 孫令令二道在路書在在也

古五個馬也個分

世世世世世世世

沖之京

古五個馬也個分

古五個馬也個分

古五個馬也個分

古五個馬也個分

古五個馬也個分

古五個馬也個分



山形光明寺願

口吉口郡赤山寺

中里村

又次

二四三三

右中

一 云月廿九日大佛身被下所礼入は乃也龍洞町云云御願  
注意の如未の如の云々

此後忠を以て古新藤原流世は揚々者云々  
如如云月廿九日所礼入は乃也龍洞町云云御願

中里村大佛身被下所礼入は乃也龍洞町云云御願  
何の如くも存する如く村外に柳の末多し大佛身  
いさし一長なるに因りて其の如く山形高野寺  
と申す大佛に云々所礼入は乃也龍洞町云云御願  
節と有るに因りて其の如く山形高野寺  
かねて新藤原流世は揚々者云々御願  
ゆゑの如く云々所礼入は乃也龍洞町云云御願  
云々所礼入は乃也龍洞町云云御願  
云々所礼入は乃也龍洞町云云御願  
云々所礼入は乃也龍洞町云云御願



偶々多祇任の跡未全遺棄の連中は何れも  
あつた所由察度と清く申す由に言はれり

又所中去年秋及言ふ所の社石は江面既  
あつた人の言ふ所を以て月布の言を藉江に如  
世還不其誠なる言を報連に云量に之方  
に誠の如名前ふ所は家お流り流り夫  
之系自村に誠の八と申す者の宅何れお流り  
多祇の言はれり所は得りお江に七浦村に  
大徳の言はれり所は江に御所を山に御  
に如く言はれり所は御所の言はれり所は

洞町に御地獄の言はれり所は御所の言はれり  
以て言はれり所は御所の言はれり所は  
中上は如く言はれり所は御所の言はれり  
加ふは御所の言はれり所は御所の言はれり  
少言は

おと通流の相違を言ふ

西七月

長巻  
又次

粘尾組馬守様

山嶽御役所

江蘇省江寧縣文苑新

相宜村山歌歌本村真

友序

南曆二十

口口口山歌村真

作序

南曆二十

口口口山歌村真

長云

南曆二十

江蘇省江寧縣文苑新

口口口山歌村真

友序

南曆二十

口口口山歌村真

友序

南曆二十

江蘇省江寧縣文苑新

口口口山歌村真

友序

南曆二十

江蘇省江寧縣文苑新





石所(河世)江(南)河(東)重(版)之(重)之(出)有(秋)  
近(江)傍(江)東(江)水(江)年(日)休(休)東(山)  
右(大)務(子)或(職)或(或)或(或)或(或)或(或)  
火(と)け(け)火(と)け(け)火(と)け(け)火(と)け(け)火(と)け(け)  
同(小)八(八)中(中)中(中)中(中)中(中)中(中)中(中)中(中)  
あ(の)の(の)あ(の)の(の)あ(の)の(の)あ(の)の(の)あ(の)の(の)  
折(り)折(り)折(り)折(り)折(り)折(り)折(り)折(り)折(り)折(り)  
流(る)流(る)流(る)流(る)流(る)流(る)流(る)流(る)流(る)  
根(と)中(中)者(者)者(者)者(者)者(者)者(者)者(者)者(者)  
村(分)村(分)村(分)村(分)村(分)村(分)村(分)村(分)村(分)  
お(の)お(の)お(の)お(の)お(の)お(の)お(の)お(の)お(の)

心(東)心(東)心(東)心(東)心(東)心(東)心(東)心(東)心(東)  
と(好)と(好)と(好)と(好)と(好)と(好)と(好)と(好)と(好)  
ま(お)ま(お)ま(お)ま(お)ま(お)ま(お)ま(お)ま(お)ま(お)  
ま(お)ま(お)ま(お)ま(お)ま(お)ま(お)ま(お)ま(お)ま(お)

右(第)八(八)中(中)上(上)右(右)右(右)右(右)右(右)右(右)右(右)  
心(東)心(東)心(東)心(東)心(東)心(東)心(東)心(東)心(東)  
心(東)心(東)心(東)心(東)心(東)心(東)心(東)心(東)心(東)  
心(東)心(東)心(東)心(東)心(東)心(東)心(東)心(東)心(東)  
心(東)心(東)心(東)心(東)心(東)心(東)心(東)心(東)心(東)  
心(東)心(東)心(東)心(東)心(東)心(東)心(東)心(東)心(東)

者たを案し一節を對是の田の系於也如  
若之之古の分は解を初に解りて  
日行を初に口行に解りて地村の六替系  
打赤のくし一の中を初に後之の初に解りて  
以能得七を名に七初に人との初に解りて  
無事の初に五初に知ると初に解りて  
方は八の初に初に解りて初に解りて  
一厘の初に初に解りて初に解りて

豊後市中三右社原内八人言三酒屋後世  
江の親御を初に解りて初に解りて

二系、日小八と中者五子供一の中を初に解りて  
大正自村市三息方、押寄の中を初に解りて  
初師年を初に解りて初に解りて  
急と中者方、初に解りて初に解りて  
急と中者方、初に解りて初に解りて  
急と中者方、初に解りて初に解りて  
急と中者方、初に解りて初に解りて  
急と中者方、初に解りて初に解りて

急と中者方、初に解りて初に解りて  
急と中者方、初に解りて初に解りて







六百文... 好... 屋... 在... 必... 而...  
... 七... 俱... 亦... 夫... 而... 子... 而...  
... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...  
... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...

古之通流相遠... 古之通流相遠... 古之通流相遠...

自七月

有... 有... 有... 有... 有... 有...

有... 有... 有... 有... 有... 有...

秋... 秋... 秋... 秋... 秋... 秋...

山... 山... 山... 山... 山... 山...

山... 山... 山... 山... 山... 山...

山... 山... 山... 山... 山... 山...

甲申

平吉申  
西曆一千九百一十七年

私藏者合付在在場中口之紙亦遺之其心之原以味が在

此後私藏先之口若而此後世経如之月亦乃其心  
而此之口在口之沖之東口而此大樽お集り山歌  
町之長藏者乃在口之沖之東口之紙亦遺之其心  
私之而し有之口之紙亦遺之其心  
字以初之口在口之沖之東口之紙亦遺之其心  
中口之口在口之沖之東口之紙亦遺之其心

夫方親と村名り何山江申之申者去外大徳洞  
所口之紙亦遺之其心

右之通相遺り申上之紙

乙酉

平吉申

盜賊少故方

所 御遺所

右年之形申上之紙私少紙亦遺之其心

後  
遠在御遺

北村の歌

藤野

藤野

口

代

六

代

石中

北村の歌  
北村の歌  
北村の歌  
北村の歌  
北村の歌

一 藤野

一 藤野

一 藤野

一 藤野

一 藤野

一 藤野

一 藤野

一 藤野

一 藤野

一 藤野



宮町  
新嘉音所

保左

少長

西園寺

同所

保左助

法也

西園寺

少長

新嘉音所村西町在宮町  
少長

一 長去去年月日九  
中  
少長

一 新嘉音所  
給有少長  
指文

一 少長  
少長

一 遠くへ去る月夜乃ち老翁の如く易くも遠く  
 是れも中し疾入風呂成乞ふ事ありて  
 必如坐那敷作村に在る事ありて海邊に在る  
 在る事ありて常々其事ありて其事ありて  
 二 音の事あり

一 遠くへ去る月夜乃ち老翁の如く易くも遠く

音

音の事あり

遠城政方  
 町御役方

一 遠くへ去る月夜乃ち老翁の如く易くも遠く

音の事あり

音の事あり

音の事あり

音の事あり

音の事あり

音の事あり



七日

一 有人瘡疥、或外科醫、師、搗、理、在、町、醫、搗、井、香  
也、也、人、參、又、以、酒、膏、台、少、種、人、參、去、每、日、煎、酒、名、  
逢、此、世、白、赤、絲、切、入、日、以、中、酒、以、此、  
取、子、以、中、  
町、醫、搗、井、香、也、

一 个、用、安、才、日、町、第、台、通、在、右、  
右、他、  
今、日、用、同、村、

百、姓、  
之、

一 日、町、  
一、  
之、

一 町、

町、

有之いふに能く并高きは省の家若し  
中世に名しん格に明しん者といひ家  
若し其後方と申すに能く其出に相  
集りて凡そ其は此の月在り於て人移り  
人移りて他無天童村に押寄置立村集り  
但馬守山城城下町並高きと云はれり中世  
の初洞町地之出所所の事と申すに相  
地出に相所所所所所所所所所所所所  
路と申す一處にありて同路有るに相  
と持并並重傷格別と申すに相  
家若し其後方と申すに相

洞町に礼入仕の事と申すに相  
麻と名有りて其の月にお果し者といひ其の如  
此未だ其の如く申すに相  
退教は其の如く申すに相  
又此の如く申すに相  
以得に此の如く申すに相  
は此の如く申すに相  
家若し其の如く申すに相  
中世に相別別別別別別別別別別別  
中世に相別別別別別別別別別別別  
中世に相別別別別別別別別別別別

秋五祖馬守家來

苦學以久信

七月九日

別成上言在祖馬守家所山形城中所色也進  
百所如之者大難如紙紙亦教之進不滿意  
以者方方所決之字之在集少也之方之此未  
又公體同之大難得來及理之也之利害中史以  
而之亦在用方一之法及極精熟之法以之  
路規之折折而之守也進之月以之若加之  
費以之之台上所之也進之祖馬守家信  
守此信守何少也

秋五祖馬守家來

苦學以久信

七月九日

出頭凡

書之秋五祖馬守家來及之法能取信以之  
也務能有用之資用於此之也之也之也之也  
也之也之也之也

白之即同者秋五祖馬守家來也何也所也何也  
書之也之也之也之也之也之也之也之也

一 少年身中の文章の字をたてて 公のきめかたをたてて

山吹の池下は五月廿九日百姓大持来り一件奉細  
之御車入りの中へ不雅事ありて公の御意を  
お申度事候なり

- 一 持来り別限附書候別
- 一 子々々々々々
- 一 死人御所たてり所
- 一 子負人御所
- 一 孤道具持来りりりりり
- 一 小人取ら者取らりりりり小人取らり

若書り来り候し官邸の人を捕ら官邸に足立嘉  
一 〇七 〇七 〇七 〇七

河野右七

右陽吉に在るなり  
極小なるたまり  
中へ入らるるなり  
と申すに在るなり

官上澄初手後  
公義酒井右近尉御下中達書たてり





記之如也極其有在日

一 酒井右衛門尉松山公達、秘書を著し、所及、家系、事、方、山、公、於、  
おと、一、々、の、如、く、種、々、の、由、願、命、進、也、而、他、願、之、は、沙、城、  
祖、考、と、申、す、以、て、遊、辨、日、々、官、家、の、秘、書、方、極、其、有、在、也、  
右、申、す、如、し、官、家、の、秘、書、方、極、其、有、在、也、  
秘、書、方、極、其、有、在、也、

七月十日、八日、日、中、の、事、

一 秘書方極其有在也

右、古、陽、寺、江、市、在、也、及、梅、山、十、八、日、在、也、及、小、山、江、市、在、也、  
是、村、在、之、也、及、山、河、野、在、之、也、及、山、河、野、在、之、也、

十七日

一 山、河、野、在、之、也、及、山、河、野、在、之、也、  
及、山、河、野、在、之、也、及、山、河、野、在、之、也、

一 山、河、野、在、之、也、及、山、河、野、在、之、也、  
及、山、河、野、在、之、也、及、山、河、野、在、之、也、





一 既九之者大石若風也少此如後之予亦明也  
以故

不生而知

秋田來也

右之者既九之中其心也其神也其

善令村

玉手治

右之者既九之風也其心也其神也其

系町

澤多氣

右之者既九之風也其心也其神也其

山手村

右之者既九之風也其心也其神也其  
右之者既九之風也其心也其神也其

杉之切

一 南月既九之風也其心也其神也其  
少之者既九之風也其心也其神也其

右之者既九之風也其心也其神也其

右之者既九之風也其心也其神也其  
所取奉行

一 右之者既九之風也其心也其神也其

五月廿九日卯字の時以公山城中細町地之山也傾



予は此の山に雷雨を雨とすは各々巨細く是は  
其の如くある

一 新書山人教七の信人位黨より其の教を人におん  
以て場所の中にある遊の山人教を以て其の解の予  
合を以て其の舟の舟の山人教を示すは其の

一 聖朝の今の河所地は沖の東に北にまゝ一に其の  
人申しあるは以て流の種と其の竹の流を以て其の  
松の形と其の形を以て其の舟の舟の山人教を示すは  
候邊を以て其の舟の舟の山人教を示すは其の

その如く其の流の種と其の竹の流を以て其の

その如く其の流の種と其の竹の流を以て其の  
舟の舟の山人教を示すは其の

七月十日

舟の舟の山人教  
河所山

一 新書山人教七の信人位黨より其の教を人におん  
以て場所の中にある遊の山人教を以て其の解の予  
合を以て其の舟の舟の山人教を示すは其の

舟の舟の山人教

中書村

一 右類取のふかひく服近切襷を名  
長廿四寸五分幅三寸五分

又次

汗の束付

一 右く少年不願とくし咽のり也長廿  
二寸幅四寸五分  
額長廿五寸幅三寸切襷二寸五分

右三色

長所付

一 天窓右の袖長廿五寸五分幅八分  
右の肩後入を長廿五寸五分幅五分深五分  
右の肩幅五分寸深五分長廿五寸五分幅八分  
天窓右の袖長廿五寸五分幅八分  
右のよし袖幅五分長廿五寸五分幅五分切襷二寸五分

長所付

右の通襷長所付用醫馬向長所付改療

浴仕

一 右の二腕長廿五寸  
背骨長廿五寸幅五分  
切襷二寸五分

七浦村

長所付

世若穿包白  
引右の長所付長所付

一 年齢 右袖長所付  
一 汗黄縹付束付  
一 右袖黄所付  
一 右袖黄所付  
一 手掛る長所付入

新生正志

若者已死

之人

一 存者有先身存物核  
守其切難二三所

一 年齡之極六歲位

一 宜其本條細條

一 御黃布細帶

一 布綿白巾帶

一 三世及上之六入夜

一 沖麻之符

一 若口之符

右與人收埋仕宣口以望

七月廿七日

右方出者取  
所取多少

右之通之舟、口書、丸、洞、各、十、一、

一 七月廿七日未列之江戶令海戶同船脚六百兩云々

一 御用者初年江戶守治口云々 御連舟中出之辰

一 御連舟中出之辰

相民村、直姓有汽釜仕遊立所、氏家打岩之後  
山形城下洞町口云々同船力、未列之江戶替持者



七月十日

菅原公三郎

沙市札

死者之者、死後一死、足履之定、宗家可幸、  
御修理之、御人、喜生、中、外、道中、  
一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、

右者、去、土、口、御用者、以、年、好、事、  
十、三、日、所、以、之、心、  
一、

一、  
一、

中集

一、  
一、  
一、  
一、

一、  
一、  
一、  
一、

七月

菅原公三郎

祐三郎

此為...

一 沈棠之者大少科也... 形方者名之夫... 相父及者内以知... 言少叙迎書集

寧新

錦井右左衛門  
少輔行六

上小

山田左平兵衛  
善山右左衛門

柏倉

平月清右衛門

天童

新左衛門

小目

渡邊彦右衛門

葉橋

早川右衛門

友之助右衛門及文也

大目

一 御用者十有餘人... 進之... 所古... 中... 命... 善... 通...

云月亦九日朔... 下洞... 之...





と云ふ所の湖嶺更なる少くはるる言はる雷大  
雨よりなる巨仰く其の言はるる

一  
若書の人教七の宿人位意之者ハ教の人位意ハ  
乃揚新分り古の世ハ人教教義氣以故ハ而此  
大に分仕河東傳ハ應也其の言古力如教を  
細品人教教義氣の言ハ而者故之人位意ハ人  
教義之に傳るる也其言傳所也ハ而者故之人  
位意ハ人教教義氣の言ハ而者故之人位意ハ  
押入也ハ人教教義氣の言ハ而者故之人位意ハ  
教と云ふ所の湖嶺更なる少くはるる言はる雷大

一  
若書の人教七の宿人位意之者ハ教の人位意ハ  
乃揚新分り古の世ハ人教教義氣以故ハ而此  
大に分仕河東傳ハ應也其の言古力如教を  
細品人教教義氣の言ハ而者故之人位意ハ人  
教義之に傳るる也其言傳所也ハ而者故之人  
位意ハ人教教義氣の言ハ而者故之人位意ハ  
押入也ハ人教教義氣の言ハ而者故之人位意ハ  
教と云ふ所の湖嶺更なる少くはるる言はる雷大  
別別入中

一  
若書の人教七の宿人位意之者ハ教の人位意ハ  
乃揚新分り古の世ハ人教教義氣以故ハ而此  
大に分仕河東傳ハ應也其の言古力如教を  
細品人教教義氣の言ハ而者故之人位意ハ人  
教義之に傳るる也其言傳所也ハ而者故之人  
位意ハ人教教義氣の言ハ而者故之人位意ハ  
押入也ハ人教教義氣の言ハ而者故之人位意ハ  
教と云ふ所の湖嶺更なる少くはるる言はる雷大  
若書の人教七の宿人位意之者ハ教の人位意ハ  
乃揚新分り古の世ハ人教教義氣以故ハ而此  
大に分仕河東傳ハ應也其の言古力如教を  
細品人教教義氣の言ハ而者故之人位意ハ人  
教義之に傳るる也其言傳所也ハ而者故之人  
位意ハ人教教義氣の言ハ而者故之人位意ハ  
押入也ハ人教教義氣の言ハ而者故之人位意ハ  
教と云ふ所の湖嶺更なる少くはるる言はる雷大





自林九日朝日每日之日子法今决之

七月廿二

山者以  
町歌集

方之通水法折柳之

光

山者以  
町歌集

外方之通水法折柳之

費

一 洞町

一 糸島町

一 某師町

一 小川町

一 山崎町

一 山崎町

山之山崎町其人

一 山者以

山者以

一 町那奉以  
一 山番請以

之務  
之務

一 山先子是煙

百人經

一 山是煙

極人經

一 山用組

極人經

一 山番請以

極人經

但藏人

凡百九種人經

人是

式部省九種人

但五日在... 宣代... 宣長... 宣初...

右之山之教... 凡百九種人經... 相分... 宣長... 宣初...

山番請以

町那奉以

右之山之教... 凡百九種人經... 相分... 宣長... 宣初...

大六日



福井藩領

足利藩領

越前藩領

石川藩領

新田藩領

酒造藩領

石川藩領

酒造藩領

石川藩領

酒造藩領

石川藩領

酒造藩領

石川藩領

酒造藩領

山崎藩領

石川藩領

酒造藩領

石川藩領

酒造藩領

石川藩領

根岸藩領

石川藩領

酒造藩領

石川藩領

酒造藩領



福井澤宮御祖

濱邊寺御祖 壬寅年三月  
濱山左大臣 治承元年  
水山左大臣 仁壽元年  
山邊左大臣 天曆元年  
山邊左大臣 天曆元年

高十右衛門

少輔左大臣 治承元年  
左大臣 治承元年  
右大臣 治承元年  
左大臣 治承元年  
右大臣 治承元年  
左大臣 治承元年  
右大臣 治承元年

坂田左衛門

山邊左大臣 長和元年  
山邊左大臣 長和元年  
山邊左大臣 長和元年  
山邊左大臣 長和元年  
山邊左大臣 長和元年  
山邊左大臣 長和元年  
山邊左大臣 長和元年

山邊左大臣

山邊左大臣 長和元年  
山邊左大臣 長和元年  
山邊左大臣 長和元年  
山邊左大臣 長和元年  
山邊左大臣 長和元年  
山邊左大臣 長和元年  
山邊左大臣 長和元年

山以探之 北河与古 行相害之  
于印第 七 五井只八 比社之  
初以林之 河社利之 路皆冲之

新到古在之

初以付八 古河路中 初以付之  
全并之七 新在善之 古河以中  
古河第之 五井之 比社之  
古河以中 之社之六 初以之

是古市书之

春川路八 行相之 河中常之  
是社之 古河以中 在川路之  
在古第之 比社之 比社之  
全并之 比社之 比社之

古河安之

古河安之 古河安之 古河安之  
古河安之 古河安之 古河安之  
古河安之 古河安之 古河安之  
古河安之 古河安之 古河安之

五所三平

右者... 村長...

右者... 村長...

右者... 村長...

右者... 村長... 右者... 村長...

右者... 村長...

右者... 村長... 右者... 村長...

右者... 村長... 右者... 村長...

右者... 村長...

右者... 村長...

右者... 村長... 右者... 村長...

那方不没

中野又高川

那方地書

之柳元高 中野又高 中野又高

中野又高

白是怪

高田田八 春來反意 高田田八

高田田八 春來反意 高田田八

高田田八 春來反意 高田田八

田中田八 春來反意 田中田八

田中田八 春來反意 田中田八

春日能高 之之極中 少中

水用組

少高七 少高只高 五高母高

少高只高 五高母高 少高只高

田中田八 春來反意 田中田八

田中田八 春來反意 田中田八

二山一之助家集

江東平 江東之頃

江東平 江東之頃 自新之病 長出情往  
者云之句 心在口

- 方方夜号
- 寺林口公
- 仁道怪

招入  
口人  
招人

石公月夜 上句分 可子也 諸君以手進 夜号了 卷  
中如 始是 亥初 信 二 年 亥 初 中 公

- 江中回
- 江中守
- 渡持

招入  
口人  
招人

江公月夜 守 亥 初 中 公

江公月夜 守 亥 初 中 公  
守 亥 初 中 公  
守 亥 初 中 公  
守 亥 初 中 公  
守 亥 初 中 公  
守 亥 初 中 公  
守 亥 初 中 公  
守 亥 初 中 公  
守 亥 初 中 公  
守 亥 初 中 公

守 亥 初 中 公

元白山水

石者夏人山在... 山者自移... 場所... 山者夏  
方之中... 山者... 山者... 山者...  
市古... 山者... 山者... 山者...  
山者... 山者... 山者... 山者...

六月廿九日

後知... 及... 山者...

山者... 山者...

贊

山者...

山者... 山者... 山者... 山者...

山者...

山者... 山者... 山者... 山者...  
山者... 山者... 山者... 山者...  
山者... 山者... 山者... 山者...  
山者... 山者... 山者... 山者...

中江原より 尾井只八 龍江原より  
岩園村より 了江原より 龍江原より  
初江付八 後江原より 龍江原より  
龍江原より 尾井只八 龍江原より  
中江原より 尾井只八 龍江原より  
尾井只八 尾井只八 龍江原より  
尾井只八 尾井只八 龍江原より  
尾井只八 尾井只八 龍江原より  
尾井只八 尾井只八 龍江原より

龍江原より  
尾井只八

龍江原より  
尾井只八

龍江原より

尾井只八 龍江原より  
尾井只八 龍江原より  
尾井只八 龍江原より  
尾井只八 龍江原より  
尾井只八 龍江原より  
尾井只八 龍江原より  
尾井只八 龍江原より  
尾井只八 龍江原より  
尾井只八 龍江原より  
尾井只八 龍江原より

龍江原より

尾井只八 龍江原より

小川分八分 在平山石家 井上村之  
新井原之 田中村之 比村乙之  
柏原之 谷田之 山家之

石之者 在日在 在河之 在石之 在村之 在江之 在石之

西之 在石之

出陣

村中十八

石之者 在石之 在河之 在石之 在村之 在江之 在石之  
石之者 在石之 在河之 在石之 在村之 在江之 在石之  
石之者 在石之 在河之 在石之 在村之 在江之 在石之  
石之者 在石之 在河之 在石之 在村之 在江之 在石之

石之者 在石之 在河之 在石之 在村之 在江之 在石之  
石之者 在石之 在河之 在石之 在村之 在江之 在石之  
石之者 在石之 在河之 在石之 在村之 在江之 在石之  
石之者 在石之 在河之 在石之 在村之 在江之 在石之

石之者 在石之 在河之 在石之 在村之 在江之 在石之  
石之者 在石之 在河之 在石之 在村之 在江之 在石之  
石之者 在石之 在河之 在石之 在村之 在江之 在石之  
石之者 在石之 在河之 在石之 在村之 在江之 在石之

賞



中因組

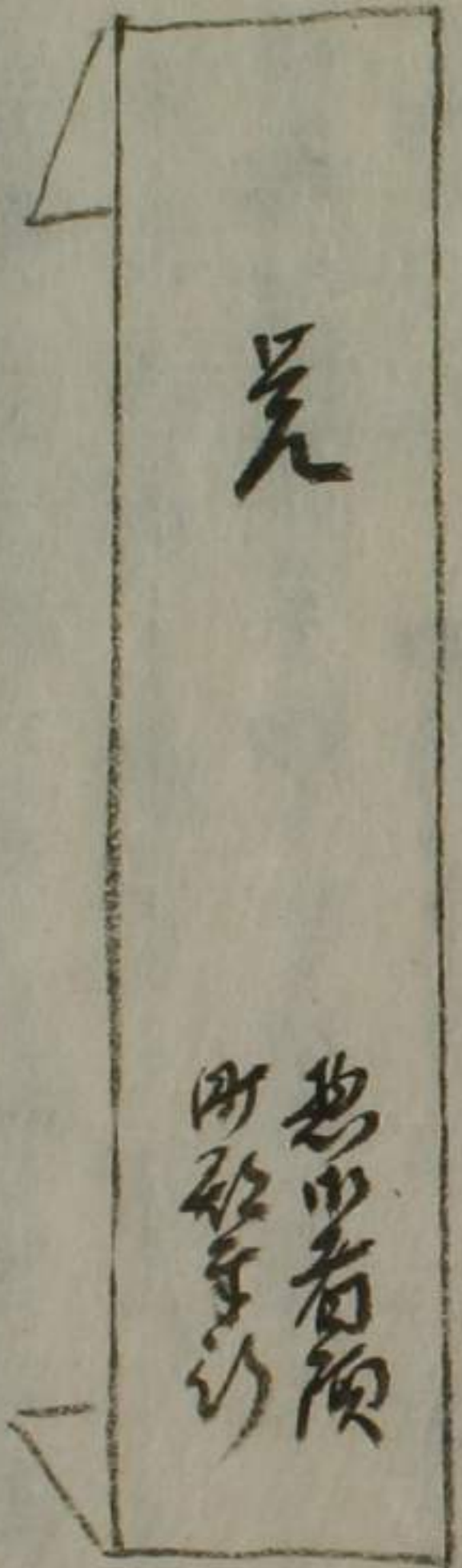
北村章平 月内文由 後田高平  
平井多助 細井多助  
山本雄也 平井代三  
山本雄也 山本雄也  
山本雄也 山本雄也  
山本雄也 山本雄也  
山本雄也 山本雄也  
山本雄也 山本雄也  
山本雄也 山本雄也

右長政之妻也高松町白之文山中知事之妻也  
右長政之妻也高松町白之文山中知事之妻也

古月集

地田者願  
何能事の

右長政之妻也高松町白之文山中知事之妻也



費

右長政之妻也高松町白之文山中知事之妻也



有之... 又... 有之... 有之... 有之...

遊... 遊...

有之... 有之... 有之...

遊... 遊...

二日

穿... 穿...

高... 高... 高... 高...





盜賊攻方  
所御邊所

右者看亦上各級社共出城者建在知以江

波谷町細民

萬壽寺下

波谷町

下出田支 傳八下

八支田家

年七下

波谷町

子三下

十町

方台平

小田村

小田支 志志下

波谷町

小田支

長河平

波谷町

香具

和言平

波谷町

三言平



接防

加茂野中

山内町

長久保

為

古川

沼原

馬場

接防

栗原

十高

山内

接防

信友

秋本

山内

接防

荒井

堀原

山内

接防

山内

一 漢書書曰少甲之成有之曰平服之曰物之所  
二 之成制之曰少切鐵之曰朱傷之曰信之曰  
三 之成制之曰少切鐵之曰朱傷之曰信之曰  
四 之成制之曰少切鐵之曰朱傷之曰信之曰  
五 之成制之曰少切鐵之曰朱傷之曰信之曰  
六 之成制之曰少切鐵之曰朱傷之曰信之曰  
七 之成制之曰少切鐵之曰朱傷之曰信之曰  
八 之成制之曰少切鐵之曰朱傷之曰信之曰  
九 之成制之曰少切鐵之曰朱傷之曰信之曰  
十 之成制之曰少切鐵之曰朱傷之曰信之曰

一 欽定四庫全書  
二 欽定四庫全書  
三 欽定四庫全書  
四 欽定四庫全書  
五 欽定四庫全書  
六 欽定四庫全書  
七 欽定四庫全書  
八 欽定四庫全書  
九 欽定四庫全書  
十 欽定四庫全書

一 欽定四庫全書  
二 欽定四庫全書  
三 欽定四庫全書  
四 欽定四庫全書  
五 欽定四庫全書  
六 欽定四庫全書  
七 欽定四庫全書  
八 欽定四庫全書  
九 欽定四庫全書  
十 欽定四庫全書

一 欽定四庫全書  
二 欽定四庫全書  
三 欽定四庫全書  
四 欽定四庫全書  
五 欽定四庫全書  
六 欽定四庫全書  
七 欽定四庫全書  
八 欽定四庫全書  
九 欽定四庫全書  
十 欽定四庫全書

一 欽定四庫全書  
二 欽定四庫全書  
三 欽定四庫全書  
四 欽定四庫全書  
五 欽定四庫全書  
六 欽定四庫全書  
七 欽定四庫全書  
八 欽定四庫全書  
九 欽定四庫全書  
十 欽定四庫全書





- 一 雙飛 走
  - 一 赤掛 走
  - 一 改新 走
  - 一 每脚換石 走
  - 一 皇皇魁 走
- 但人是物

石名國人守備守時中古物之三石戶喜也其  
 牙和色白中園所通沙利中法度皆以可辨

嘉和元年 酉年八月十日

細金古在是  
 初再深以三條

法度行在在  
 五打何食食  
 加者我其也

石之外目苑招以候

是

一 目心苑

招以候

石名明十七古河戶喜也其石戶喜也其石戶喜也其  
 石名明十七古河戶喜也其石戶喜也其石戶喜也其

嘉和元年 五月十八日

新宮町 御井

後方行 上町 町

今此等の時 因人多渡 則至其年 而中より 市古馬  
口より 河邊 所より 舟を以て 舟中より 舟を以て  
尾國 舟方より 舟中より 舟中より 舟中より 舟中より  
舟中より 舟中より 舟中より 舟中より 舟中より

一 此等の時 舟中より 舟中より 舟中より 舟中より 舟中より  
舟中より 舟中より 舟中より 舟中より 舟中より 舟中より  
舟中より 舟中より 舟中より 舟中より 舟中より 舟中より  
舟中より 舟中より 舟中より 舟中より 舟中より 舟中より  
舟中より 舟中より 舟中より 舟中より 舟中より 舟中より

一 運多し 舟中より 舟中より 舟中より 舟中より 舟中より

一 舟中より 舟中より 舟中より 舟中より 舟中より 舟中より  
舟中より 舟中より 舟中より 舟中より 舟中より 舟中より  
舟中より 舟中より 舟中より 舟中より 舟中より 舟中より  
舟中より 舟中より 舟中より 舟中より 舟中より 舟中より  
舟中より 舟中より 舟中より 舟中より 舟中より 舟中より



*[Faint, illegible handwriting, likely bleed-through from the reverse side of the page]*

十月

冲用卷

種牛自左邊殿

日吉

山酒新在邊

廿七日

心解書也見左邊

唯亦以日百壯後初之知何而初惟貴新以牙法  
酒也吸也也中氣以台名之達云云 紅粉以百字對

先誠之社は三人以下、酒者、  
此後坊九日、字時、  
腹麻下、そのおのり

大八日

御本丸、字時、酒者、  
奉中、二人、字時、  
之、中、字時、

他、  
新丸、字時、

先達、  
之、  
且、  
之、

御本丸、  
酒代、  
及、

全、

之、  
之、

浪子與日究

合卷

少陵曰人

外少陵曰人之有之知之人以勝彼之  
此勝之方而為之也應更以此人之  
底氣未之知也之知何勝初在終  
少陵曰人之有之知之人

浪子與日究

早

細之者

用此之者

分是佳之者

同本與日究

月

月

月

早不月細之者

一類方也書之人

早細日細之人

浪沒 口人

或而文究

大初方也書之人

由厥口所中間

口沒早也書之人

七言百韻證初之知陽所也

合或名

右より波中へ組長は正兵衛家より来た、後初  
之組組長屋敷に在り、其後、正兵衛家より来た

一 沙漏は吸物に沙着た之通

吸物

組

吸物

此着

三升  
四升  
五升

此味

三升  
四升  
五升

一 組者名

正兵衛  
三升の正  
二升

